



2月号

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

校長 上野 修

母の智慧と慈悲

信ずることと考えること」(新潮CD 小林秀雄講演第二巻所収)

「子を見ること親に如（し）かず」というだろう。親は子どもと長いあいだ親子につきあっているから、子どもについていちばんよく知っているのです。この「知る」は、学問的に考えて知るのではない。本当の「知る」ということは、「考える」ということは、そういうことなのです。

学問的に考えて知るとは、あるひとつの観点を設けて、その観点に立つて対象となるものを観察し、解釈する。そういう知り方である。しかしこれでは、その観点のフレームの中に入ってくるものしか観察できない。フレームのすぐ外に前代未聞の現象や物体が現れていてもそれをそうと見てとることはできない。何であれ物事を本当に知るためには、観点など取り払わなければ駄目なのである。

母親は子どもに対して、観点など持っていない。彼女が科学的観点に立つて心理学の観点に立つて、子どもの心理を解釈などしていません。母親は、子どもをチラツと見たら、何を考えているかわかるのです。そういう直観は、交わりからきている。交わりが人間の直観力を養うのです。

先日、横浜市戸塚区の正福寺のご住職、松原行樹さんの法話を視聴しました。紹介します。

森繁久彌（1913～2009）さんの友人に、ある会社の社長がいて、この方がロータリークラブの会長に就任しました。社長はロータリークラブの皆さんに赤飯を配って、次のようなお話をしたということです。

私は山梨県の片田舎の貧しい農家の跡取り息子に生まれたのですが、大きくなるにつれて、自分の家の田畑の広さが分かってきた。そうすると、どんなに今後頑張ってみても、こんな狭い畑や田んぼでは老いてゆく両親を養い、弟妹に勉強をさせてやることも出来ない。結局は都会へ出て出稼ぎをしなきゃ駄目だと思ったけれども、先祖代々の田畑を捨てて跡取り息子が家を出て行くということに親が賛成するはずもないのでいいだせなかった。でもいくら考えてみても、そうするしか仕方がない。そこである晩、着古した下着類を風呂敷に包んで準備し、母親が起きるよりも2時間ぐらい早い時間に家出をしようとしたのです。ところが台所へ行ってみると、寝ているはずの母親が既に起きています。そして振り向きもせず、「赤飯を炊いたから食べていけ」といったのです。赤飯の前に座ると母親が出来たての味噌汁を添えてくれる。一口、口へ入れたけれど、何か固まりみたいなのが喉へ突き上げてきて呑み込めない。すると母親が、「起きたばかりで食べられないのなら、握り飯にしてやるから持っていけ」といって握り飯を渡してくれたんです。それを持って逃げるように暗い外へ飛び出したのだけれども、家出をしようとする息子を引き止めもせず、怒りもせず、泣き騒ぎもせず、送り出した後で、母親はきつと板の間につぶすなり、流しの縁にすがるなりして、泣いているだろう。その母の姿が目に見えなくて、泣きながら停車場へ向かいました。その握り飯は当然、一粒も残っていないけれども、都会へ出て、ある程度のお金が出来、地位が出来ても、母の赤飯の握り飯が、自分のお守りとも、仏とも、神ともなって、今日まで私は脇道へそれないで来れた。そして、ロータリークラブの会長という名誉な地位にまでつかけます。今日の私があるのは赤飯のおかげであるので、今日皆さんに食べてもらいたいです。（手問ひまかけること－智慧と慈悲－<https://www.engakuji.or.jp/blog/35839/>）

ご住職のお話を聞いて、まずはじめに母のことを思い出しました。私の母も私のことを何でもお見通しでした。子供の頃、巧妙に作り上げたつむりの嘘も母にはすぐに見抜かれてしまいました。「どうしてバレるのか」と何度も思ったものでした。冒頭に載せたのは、「近代批評」を確立したといわれる小林秀雄（1902~1983）の1974年、鹿児島県霧島での講演の録音です。30代の頃、小林のこの講演を聴いて「どうしてバレるのか」の疑問が解けた思いがしたことを覚えています。科学の方法ではなく、全身全霊で我が子と交わることを通して直感力を身につけた母に太刀打ちできるはずもなかったのです。「何でもお見通し」といえば、小学校時代の恩師、吉田よし江先生にもこの直感力を感じました。直感を磨かなければならないのは私たち教師も同じだと思います。本校の職員にも今回のご住職のお話を紹介しました。ご家庭と連携して子供たち一人一人を見守っていきたいと思います。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動



始業式



ゲストティーチャー 菅野先生 お琴の授業



避難訓練 消火体験



避難訓練 起震車体験



児童集会（健康委員会）



なめがわ郷土かるた大会



2月・3月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

2月 2日(木) 学校評議員会 学校評価懇話会
 8日(水) 滑川町学校保健委員会(本校会場)
 11日(祝) 建国記念の日 10代からのメッセージ
 14日(火) 授業参観、学級懇談会(1・4年)
 15日(水) 授業参観、学級懇談会(なかよし あすなろ)
 ふれあい弁当
 16日(木) 授業参観、学級懇談会(2・5年)
 17日(金) 授業参観、学級懇談会(3・6年)
 23日(祝) 天皇誕生日
 27日(月) 通学ボランティア様感謝の会

3月 4日(土) 6年生を送る会
 8日(水) PTA常任委員会
 15日(水) ふれあい弁当
 22日(水) 給食最終日
 23日(木) 卒業式
 24日(金) 修了式